

# 埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 令和2年度 埼玉県医師会 臨床検査精度管理調査試料の発送作業に参加して

令和2年度 埼玉県医師会臨床検査精度管理調査試料の発送作業が2020年9月12日(土)に行われました。

スタッフとして参加された会員の方の感想文を掲載します。

自治医科大学附属さいたま医療センター  
末次 遼太

2020年9月12日(土)、時折雨の降る中、令和2年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査の試料梱包と発送作業が行われました。新型コロナウイルス感染防止のため入口では体温測定とアルコールでの手指消毒をしてから受付を行いました。今回初めての参加で緊張するなか会場へと入ると、すでに多くの方が発送作業の準備を始められていました。

定刻となり神山会長の挨拶、山口精度管理委員長より作業内容の説明、注意事項の確認があり作業が始まりました。

作業内容は研究班ごとに参加施設のリストがあり、これを確認しながら発送用の箱に試料を詰めていきます。施設ごとに必要な試料が異なっているため間違いのないように確認しながら流れ作業を滞りなく行わなければならないという緊張感がありました。また、フェイスシールドを装着しての作業のため多少のやりずらさはありませんでしたが、お互いに確認をすることで無事に作業を終えることができました。

今回、参加をして精度管理試料の発送には多くの方々の努力や協力が必要であるということを実感しました。最後になりますが、梱包・発送作業に携われた理事・各研究班・その他関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

一般社団法人浦和医師会メディカルセンター  
長谷川 隆

令和2年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査の試料梱包と発送作業が2020年9月12日(土)に行われました。私は初めての参加だったため、少し早めに到着したつもりでしたが、会場には既に相当数の方がいらっしゃいました。

今回の作業が例年と異なる点は、新型コロナウイルスの感染防御対策を行いつつの実施だったことです。建物に入るときに検温をして台帳に記録しましたし、会場の窓は開け放たれており、マスクを着用し、フェイスシールドも装着して作業を行いました。

最初に神山会長の挨拶、山口精度管理委員長からの説明と注意事項の伝達があり、作業開始となりました。私は、試料を入れるための仕切り付きの箱を組み立てる作業と、既に箱に入れられた試

料間の隙間を埋める緩衝材を入れる作業を担当しました。近くに来る先輩理事に代わる代わる聞いて、教えていただきながら作業しました。

準備された箱には、必要な試料を各研究班員が流れ作業で順次、確認しながら投入していき、緩衝材が入れられた箱の蓋が閉じられると、箱は宛先票を貼った宅配便袋に必要書類と共に入れられ封がされて完成です。最後に、運送会社に引き渡すために、建物玄関前に二百数十の袋が並べられましたが、その光景はなかなかの壮観で、ちょっと感動しました。

おわりになりますが、精度管理試料の梱包・発送作業に携われた、研究班員や理事、その他関係者の皆様、誠にお疲れ様でした。



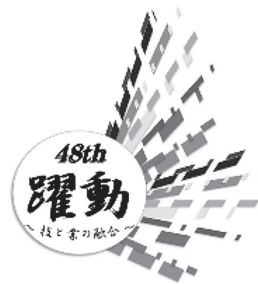
## 第48回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和2年12月6日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：躍動

サブテーマ：～『技』と『業』の融合～



学会公式LINE  
アカウント

第48回埼玉県医学検査学会  
運営部 今井 芙美

暑さもおさまり過ごしやすい季節になってきましたね。早いものでこのだよりが皆様のお手元に届くころには学会まで2か月を切っている頃となります。COVID-19の影響により学会準備も通常どおりとはいかないことばかりですが、実行委員一同皆様に安心して参加いただけるよう準備を進めております。そこで、今回は市民公開講演の内容をご紹介しますと思います。

市民公開講演は「笑い与健康～君子医者に近寄らず～」というテーマでサン松本クリニック院長であり日本笑い学会講師でもある松本光正先生にご講演いただきます。「笑いはすべての病気の予防、治療になる」「笑う門には福来たる。プラス思考が大切」をモットーに、医療や薬についてわかりやすく、笑いを交えながらお話いただけると評判の先生です。松本先生の講演を聴いて、最後は皆さん一緒に笑いあいましょう。

市民公開講演後には全米大会で優勝経験のある浦和学院高等学校ソングリーダー部“SPLASH”によるパフォーマンスが企画されています。キラのある躍動感あふれる演技をぜひ、その眼でご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



り複数基準が存在し、最新改訂版として日本血栓止血学会DIC診断基準2017年版が作成され、この診断基準では分子マーカーとしてFDPをより重要視し、加えて凝固活性化マーカーであるTAT、SF、F1+2さらに急性期DICの予後を反映すると報告があるアンチトロンビンが採用になったとのお話があった。TATやSFなど院内測定が可能でない施設も多いが診断基準に採用することで、今後、測定の普及が期待されるのではないかと感じた。

今回の研修会では血栓性疾患の発症や早期診断、治療における凝固・線溶系分子マーカーの有用性について学べる大変有意義な講演内容となった。

(文責：星聖子)

## テーマ 凝固検査機器を知ろう part 2 ～ 凝固検査のトピックスも絡めて ～

主催 血液検査研究班

実施日時：令和2年9月3日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：基礎教科-20点

講演 1：血液凝固自動分析装置CP3000と凝固線溶関連試薬について  
凝固検査用検体取り扱いの基礎知識も絡めて

講師：須長 宏行（積水メディカル株式会社

カスタマーサポート センター学術 企画グループ）

講演 2：力学的検出原理に基づく凝固時間法を採用したSTAシリーズについて

講師：田中 秀明（富士レビオ株式会社 テクニカルサポート課）

参加人数：会員32名

出席した研究班班員：中山智史 網野育雄 原誠則 軍司雅代 澁川絵美 堀内雄太 加藤鉄平  
研修内容・感想など

講演の前半では、須長氏より凝固検査の基礎知識、凝固検査のピットフォール、凝固検査用検体取り扱いに関する基礎知識、血液凝固自動分析装置CP3000と搭載試薬についてのお話があり、凝固検査では採血量、採血手技がいかに検査値に影響を及ぼすかを再認識した。異常値となったときに、それが治療によるものなのか、採血量や手技によるものなのか、適切な判断が求められるため、講演内容をきちんと理解し日々の業務に役立てていきたい。また、採血管の種類や取り扱いについてもお話があり、新人教育などでも活用していきたい内容であった。搭載試薬に関しても液状PT試薬では要員の試薬溶解手技による検査値に与える誤差を除外できる利点、FDP、Dダイマー試薬では使用するモノクローナル抗体の特性により逆転現象が起こらない利点など紹介があった。

後半では、田中氏より自動血液凝固線溶測定装置STAシリーズについて、装置仕様や特徴に関する内容だった。また、トピックスとしてCOVID-19と血液凝固のお話があり、COVID-19でAPTTが延長している症例では、LAを有している例が多いことや、COVID-19の生命予後の判定としてDダイマーが有用となる報告がある一方で、重症化例ではPAI-1の増加により、プラスミンが抑制されDダイマーが過小評価される報告があるなどの情報提供があり、現在のコロナ渦での業務に大変役立つものであった。装置のお話では他の血液凝固検査装置との大きな違いとしてスチールボールの振幅の動きで凝固時間を検出する力学的原理を用いていることによつて、乳ビなどの濁度が強い検体でも影響されない利点など紹介があった。

今後の院内への装置導入の選択肢としてもどちらも魅力的な内容であった。どちらの講演も日々の業務に不可欠な内容であり、理解を深め、日々の業務に生かしていきたい。

(文責：澁川絵美)



令和2年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第8回 理事会議事録

日時：令和2年9月10日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所  
さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事) 神山 矢作 松岡 猪浦 小山  
濱本 長澤 山口 神嶋 松尾  
伊藤 笹野 塚原 松寄 石井  
神戸 長岡 久保田 長谷川  
飯野 阿部  
(監事) 遠藤 細谷

欠席：(理事) 菊池

本日の理事会の出席者は23名であった。理事の出席者は21名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

### Ⅰ. 行動報告 (令和2年8月13日～令和2年9月9日)

8月13日(木) 令和2年度第7回理事会：  
神山、矢作、松岡、猪浦、小山、  
長澤、山口、神嶋、松尾、伊藤、  
笹野、塚原、松寄、石井、神戸、  
阿部、長岡、久保田、飯野、長谷川、遠藤

8月15日(土) 事務所巡回：小山

8月20日(木) 令和2年度第1回青年部委員会：  
神嶋、濱本

8月21日(金) 第48回埼玉医学検査学会第11回実行委員会：  
猪浦、石井、伊藤、  
神嶋、飯野

8月21日(金) 令和2年度第2回事業部会：  
矢作、長澤、伊藤、笹野、塚原、  
松寄

9月1日(火) 生涯教育プログラム10・11月分の  
行事登録作業：長谷川

9月2日(水) 埼玉県との打ち合わせ：神山

9月4日(金) 日臨技理事会：神山

9月7日(月) 令和2年度第1回研究班班長会議：  
長岡、阿部、久保田、長谷川、飯野

### Ⅱ. 報告事項

#### 1 事務局

1) 8月24日(月)、第24回臓器移植推進街頭キャンペーンの後援依頼が届き、後援を承諾した。

2) 8月27日(木)、埼臨技が主催する事業の開催状況について、会員に一斉メールを送信した。尚、サーバーの不具合が発生したため、8月28日(金)に再送信した。

3) 8月28日、埼玉県より当会から推薦した6名の会員が、埼玉県公衆衛生事業功労者表彰の決定通知が送付された。

穴原 賢治 様 (上尾中央医科グループ  
彩の国東大宮メディカルセンター)

阿部 健一郎 様 (深谷赤十字病院)

網野 育雄 様 (埼玉医科大学国際医療  
センター 中央検査部)

荻野 毅史 様

(埼玉県済生会川口総合病院)

小関 紀之 様

(獨協医科大学埼玉医療センター)

濱田 昇一 様 (株式会社 アムル

上尾中央臨床検査研究所)

表彰式は、第64回埼玉県公衆衛生大会11月9日(月)の予定。

4) 9月2日(水)、神山会長がPCR検査実務に関する会員の派遣について埼玉県との打ち合わせを行った。

5) 9月6日(日)、埼玉県に令和元年度事業報告の補正報告を提出した。

6) 日臨技が展開するWeb講習会について、9月1日現在、新型コロナ核酸増幅検査(PCR等)基礎学科研修18名、検体採取基礎研修会修了者12名の報告があった。受講者はこの後埼玉県が主催する研修会を受講し一連の研修会が終了するが、県はこれらの研修会を行う予定は無いと報告があった。

#### 2 総務部

1) 「埼臨技だより」第496号9月15日(火)発行予定。

2) 8月7日(金)、第1回女性技師企画研修委員会を開催した。

3) 8月20日(木)、第1回青年部委員会を開催した。

#### 3 事業部

1) 8月21日(金)、令和2年度第2回事業部会を開催した。

2) 検査と健康展 中止のチラシ配布について

3) 令和2年度検査室管理運営研修会を令和3年2月16日(火)ソニック602号室で開催予定。

テーマ「初体験・コロナ禍対応 ～気になりますか？ 他施設の状況～」

#### 4 学術部

1) 生理検査、血液検査研究班の生涯教育担当者へ学術権限を追加付与した。

2) 研究班班長へ今後の研修会について、クwestion使用しアンケートを実施した。

3) 第48回埼玉県医学検査学会の抄録審査用資料が久保田編集委員へ届いた。

4) 第48回埼玉県医学検査学会ポスター発表時の審査員について学会担当理事からの回答待ちとした。

5) 11月23日に延期された埼玉県診療放射線技師会主催乳腺セミナー講師選定について生理検査研究班家城班長へ打診した。

6) 9月7日、令和2年度第1回研究班班長会議を開催した。

#### 5 精度保証部 特になし

#### 6 会計部

1) 令和2年度正会員費 27名135,000円、入金26名分26,000円、再入会金 1名1,000円合計162,000円の入金があった。

2) 石井印刷へ、埼臨技だより第495号の印刷代92,752円を支払った。

3) 第6回理事会報告のレンタルPCのMicrosoft365契約代として22,968円を支払った。

#### 7 精度管理委員会

1) 令和2年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査参加施設は234施設となった。

#### 8 一都八県会長会議

9 日臨技関甲信支部

10 日臨技

- 1) 9月4日(金)に日臨技理事会が開催された。資料は後日、日臨技HPに掲載となる。
- 2) 9月5日(土)、6日(日)に幕張メッセにて第69回日本医学検査学会が開催された。今回は新型コロナ対策として、会場開催並びにWeb開催(10月1日から31日まで)となった。

11 第48回埼玉県医学検査学会

- 1) 8月21日(金)、第48回埼玉医学検査学会第11回実行委員会を行った。

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和2年度分)
  - 令和2年9月1日現在  
会員数 3,250名[令和元年度会員数3,144名]  
(新入会員 201名)  
賛助会員 77社[令和元年度 81社]  
承認された。
- 2) 新型コロナ関わるPCR・検体採取研修会の開催について
  - PCR実技研修会を埼臨技の生涯教育として、検体採取研修会については自施設でOJTを行いWeb受講生について研修会を開催することで承認された。

2 総務部 特になし

3 事業部 特になし

4 学術部 特になし

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

7 精度管理委員 特になし

8 第48回埼玉県医学検査学会

- 1) Web開催時の対応について
  - (1) 12月6日以降の公開も可能にしたい。
  - (2) Web開催の場合、特別講演、市民公開講演はPPT音声入りでも可能にしたい。  
上記について、神嶋理事より発言があり、審議の結果、承認された。
- 2) 開催判断について
  - 大宮ソニックシティのキャンセル料は、90日前は無料、9/8~11/7まで30%、11/8から100%のため、11月12日にキャンセルした場合はキャンセル料が100%と

なってしまう。11月7日までにキャンセルした場合はキャンセル料が30%で済むため、11月の理事会前に大宮ソニックシティでの開催判断を決議したい。

上記の件について、神嶋理事より発言があり、審議の結果、第48回埼玉県医学検査学会は新型コロナ感染症による緊急事態宣言が発令された事態を除き原則、開催することで承認された。

IV. 議題

1 事務局

- 1) 令和2年度臨時会員総会の開催日について
  - 日時：令和3年3月9日(火)18時30分
  - 会場：大宮ソニックシティ  
403・404号室

上記について、小山事務局長より発言があり、審議の結果、提案のとおり、賛成多数により可決された。

- 2) 次回以降の理事会の開催形態について
  - 上記について、小山事務局長より発言があり、審議の結果、令和2年度第9回理事会以降の理事会は毎月第2木曜日、19時よりzoomを併用して開催とすることが、賛成多数により可決された。

2 総務部 特になし

3 事業部

- 1) 令和3年賀詞交歓会及び各賞受賞記念祝賀会の開催について
  - 上記について、伊藤事業部長より発言があり、審議の結果新型コロナウイルス状況を鑑み、今年度は開催を中止することが、賛成多数で可決された。

4 学術部

- 1) 今後の生涯教育研修会の運用について
  - 上記について、長岡学術部長より発言があり、ZOOMミーティングを導入するため、プロライセンス(1ライセンス)、ウェビナー(100名分)で契約することについて、審議の結果、賛成多数で可決された。

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

# あ と が き

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当たり前の日常が当たり前でなくなり、働き方も変化が求められています。皆様の職場はいかがでしょう？

人間必ず誰かに支えられて、人生を歩んでいます。当たり前のことが、実は当たり前ではないということを忘れがちです。検査を手伝ってくれてありがとう、勤務交代してくれてありがとう、愚痴を聞いてくれてありがとう。そんなたくさんの「ありがとう」の言葉は、人間の心を癒し、そして豊かにしてくれます。そんな「感謝」に溢れた、温かな職場を埼玉県全ての臨床検査室で築いていきましょう。そして皆さんの「やる気スイッチ」はどこにありますか？ 忙しい毎日で、意外に自分では気づかないものです。大変な今だからこそ、同じ職場・仲間同士で「ありがとう」と声を掛け合い、お互いがやる気スイッチを押してあげられる、そんな存在でいられると良いですね！

(塚原 記)

